



学校だより評価号

☎ : 075-231-0959 E-mail:kyogoku-s@edu.city.kyoto.jp

平成27年12月1日
京都市立京極小学校
校長 丸毛 貞寛

平成27年度 前期学校評価について

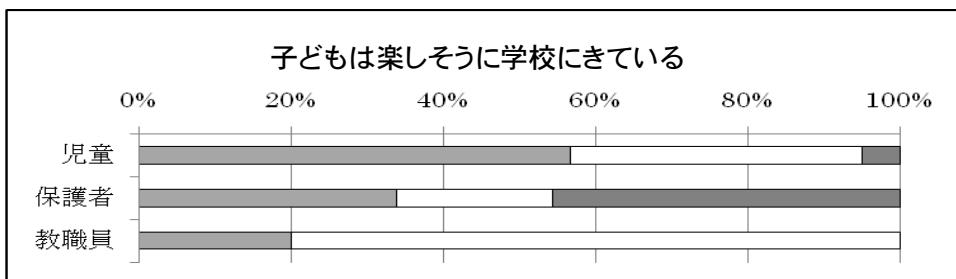
平成27年度前期の学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。本校では、「心身ともに健康でたくましく、個性の輝く京極の子」を学校教育目標として、日々の教育活動を進めております。このような目標に対して、どこまで子どもたちが成長してきたのかを振り返りながら、課題をみつけて改善していくことに学校評価の意味があります。また、学校が家庭や地域と情報を共有して、課題を明らかにすることが問題を解決する糸口になるものと考え、「学校だより評価号」として学校評価の結果をお知らせいたします。

A よくできている

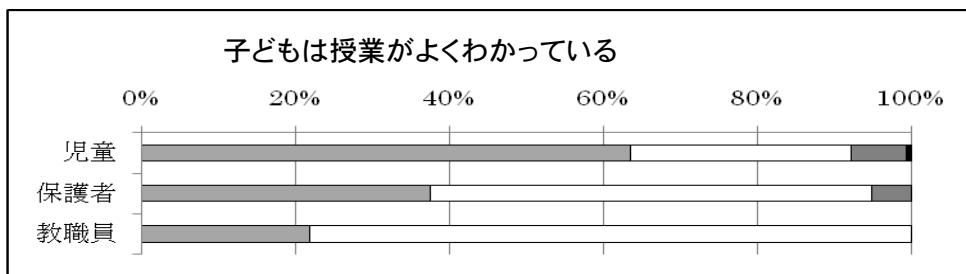
B おおむねできている

C あまりできていない

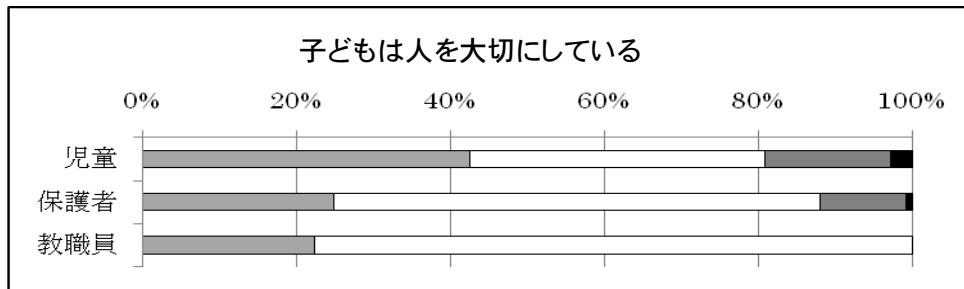
D できていない



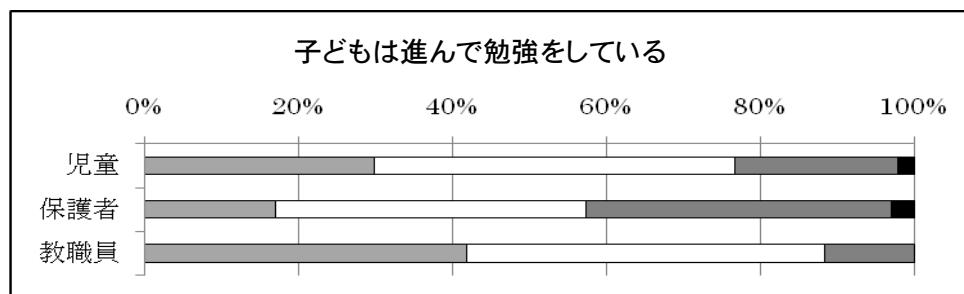
児童・教職員は、90%以上がA・B評価なのに対して、保護者は50%台と低い数値なのが気になります。「あまり楽しくない・楽しくない」と思われる原因や理由を探り、目指す学校像の一つである「楽しい学校」により近付くよう、学校全体で取り組んでいきたいと思います。



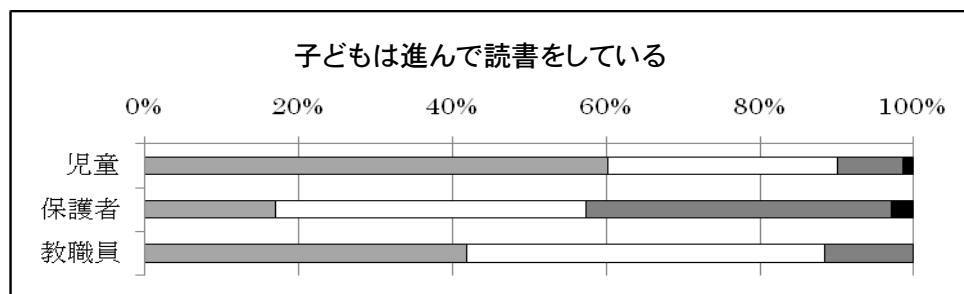
この項目は、学校教育の基本の一つであると考えます。A・Bの割合が3者ともに90%を超えております。しかし、「あまりわからない・わからない」もまだありますので、個に応じた指導のよりいっそうの充実も図りながら今後も全員がわかる授業づくりを目指していきたいと思います。



この項目は、人としてとても大切な項目であると考えています。児童の20%近くがC・D評価をつけています。自分に厳しくつけている児童もいるとは思いますが、100%の児童が自信をもって「大切にしている」と回答してほしい部分です。子どもたちの行動をしっかりと見守り、互いに人権を尊重できる学校作りを進め、人を大切にできる心や態度を育てていきたいと思います。

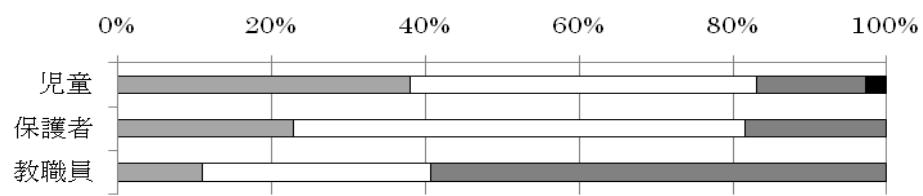


A・B評価が児童、70%台であるのに比べて、保護者は、50%台となっています。児童が考えている「進んで勉強する」と保護者が考えている「進んで勉強する」に違いがあるのかもしれません。与えられたことはできいていても、学習したことをさらに深めたり、目的をもって学習したりできるようになってほしいと思います。児童の学力がさらに上がるよう取り組んでいきたいと思います。



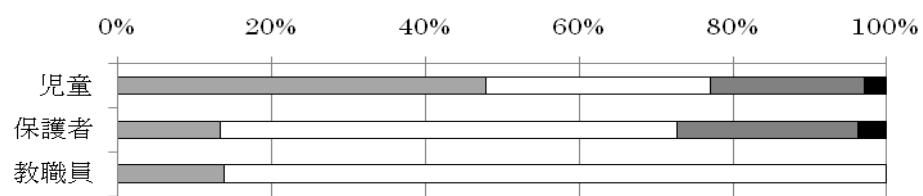
この項目では、A・B評価が児童と教職員は90%前後あるのに対して保護者の評価は、50%台と低い。学校では、読書の時間があるので読む姿がみられるですが、家庭では他にすることがあるのであまりできていないのかもしれません。学校でも引き続き読書の時間を大切に取り組んでいきたいと思いますが、ご家庭でも「親子読書の日」など、お子様と一緒に読書を楽しむてはいかがでしょうか。

子どもは自分から進んで挨拶ができる



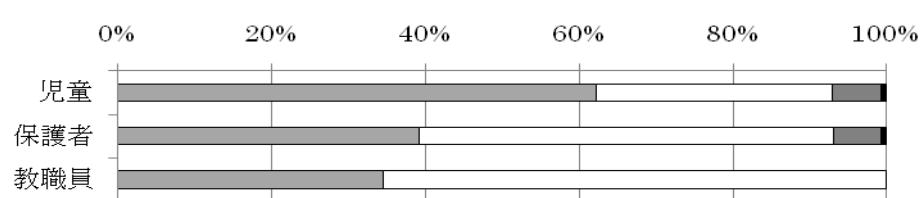
教職員の A・B 評価が 40% 台と低いのに対して、児童保護者は 80% 台と高い評価になっています。学校では、いろいろな人が出入りするので知らない人には、挨拶をしないこともあるのだと考えられます。このことが、教職員の評価が低くなっている理由であると考えられます。学校にいる時には、誰に対してでも挨拶ができるように声をかけていきたいと思います。

子どもの基本的生活習慣は身についている



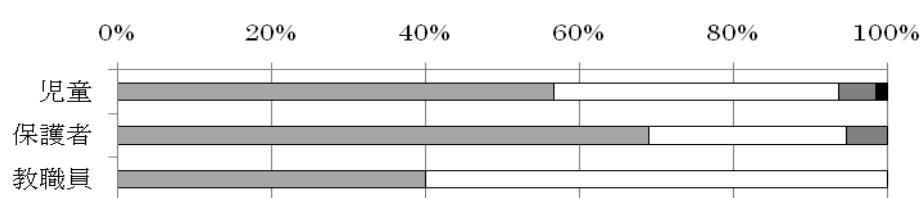
児童・保護者の A・B 評価は、70% 台に対して教職員は 100% となっています。お家で見られている様子と学校での様子が違うこともあるのかもしれません、今後も保健指導や生活指導を充実させていきたいと思います。

先生はわかるまで勉強をおしえてくれる

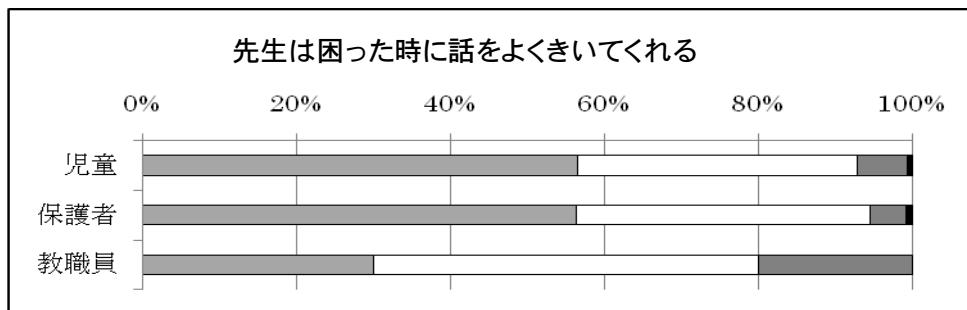


三者ともに 95% 以上が A・B 評価と回答しています。ただ、そうでないと回答している児童もいます。自分からわからないと言えない児童もいると思います。子ども達一人一人納得ができるまで学習できるように家庭と連携し取り組んでいきたいと思います。

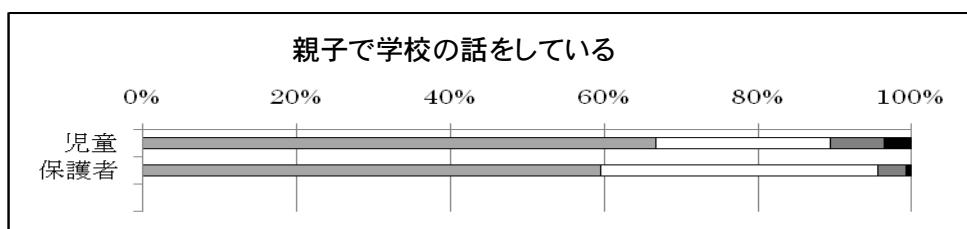
先生はほめたり認めたりしてくれる



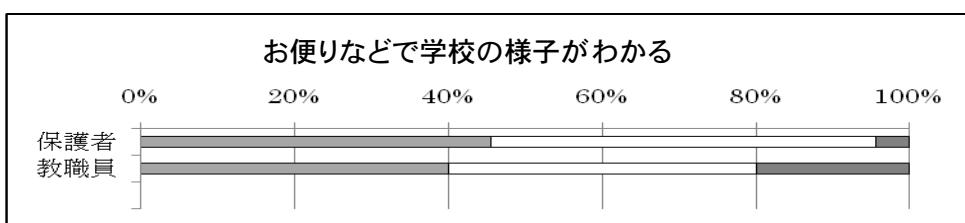
この項目に於いても、三者ともに95%以上がA・B評価と回答していますが、数%の児童はしてもらっていないと回答しています。児童によつては、「しかられたこと」の方が頭に残り、「ほめられたこと」は残りにくいのかもわかりませんが、このことは深く受け止め、すべての児童のよさを見つけ認めていくように努力しなければいけないと思います。



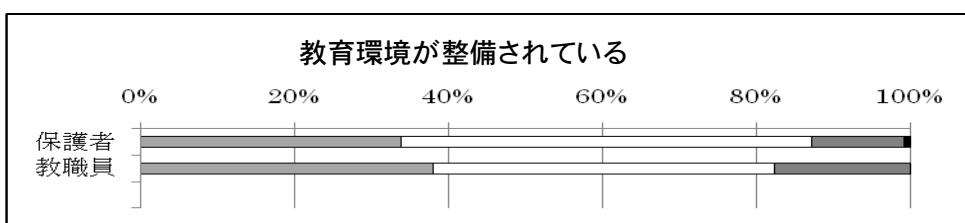
児童・保護者は、90%以上がA・B評価と回答しています。しかし、教職員は80%と若干低い評価になっています。日々の忙しさから、しっかり話がきけていないと感じる教職員がいるのですが、今後も児童に寄り添い、よりよい関係を築いていきたいと思います。



保護者の意識よりも児童の意識の方が若干低くなっています。聞いてもらっていても、もっともっと話をきいてほしいと感じる児童もいると思います。今後も子ども達への声かけよろしくお願いします。



90%以上の保護者からA・Bの回答を得られています。今後もさらに学校便り、学級便り、ホームページなどで学校の様子をお知らせしていきたいと思います。



90%近くの保護者からA・B評価を得られているのですが、今後も学校全体で環境整備に努めていきたいと思います。

◎学校運営協議会理事の方に配る。